

再編ルートの検討について

1 ルート検討時の条件整理

1.1 基本条件の整理

ルート検討にあたり、前提となる基本条件を以下の通り整理した。

1) 使用する車両

基本方針の④「持続可能な運行形態・サービスの提供」に基づき、現有車両でサービスを提供することを基本とする。

保有台数：ポンチョ7台（うち1台は予備車）、ハイエース2台（うち1台は予備車）

2) 通行する道路

ルートの検討対象とする道路は、一方通行、スクールゾーン等の交通規制を考慮した上で、原則として車両制限令に定めるコミュニティバスの運行に必要な最低限の幅員を満たす道路とする。

なお、ポンチョ、ハイエースが通行可能な道路の幅員は再編運行基準（案）に記載の通りである。

3) 起終点の確保

運転士の休息・交代時間及び運行時間を調整するため、バスが待機可能な起終点を各路線に確保する。

現在、小金井市内で起終点として利用可能な箇所は以下の5箇所である。

- 武蔵小金井駅北口
- 武蔵小金井駅南口
- 東小金井駅北口
- 東小金井駅南口
- 新小金井駅前（駅北側）

4) 路線延長

路線の長さは運行の安全性と運転士の休息等を考慮して実際に運行可能な距離に設定する。また、基本方針の③「日常生活に即した運行サービスの提供」に基づき、効率性の観点も踏まえる。

最終的な運行の可否は実車走行を踏まえて決定されるが、検討における目安として、京王バスへのヒアリングの結果を元に、運転士の休息等を考慮したルート一周の長さ（走行可能距離）について、以下のように整理した。

表 走行可能距離の目安

		運行間隔	
		1時間に2便	1時間に3便
車両台数	1台	4.5km程度	3.0km程度
	2台	9.0km程度	6.0km程度

また、参考として現在のCoCoバス各ルートの所要時間と距離から、概ねの走行速度を整理した。

表 CoCoバスの路線別走行速度(概算値)

路線名	路線長	所要時間	平均速度
北東部循環	6,820m	30分	13.64 km/h
貫井前原循環	6,390m	30分	12.78 km/h
東町循環	3,500m	18分	11.67 km/h
中町循環	4,830m	24分	12.08 km/h
野川・七軒家循環	3,650m	21分	10.43 km/h

5) 運行時間帯

再編運行基準（案）に基づき、9時台～19時台の運行を最低限確保する。

6) 運行間隔

再編運行基準（案）に基づき、1時間当たり2便（30分に1便）を最低限確保する。

7) その他

再編運行基準（案）を踏まえた上で、再編基本方針との整合性を図りながら、市内における高齢化の状況や土地の高低差を考慮する。

1.2 運行対象地域

基本方針の①「公共交通が不便な地域における交通弱者への対応」及び②「路線バスを補完するサービスの提供」に基づき、路線バスとの競合を回避し、以下に示す公共交通不便地域を対象地域とすることを基本とする。



図 公共交通不便地域

1.3 市民・利用者ニーズの高い施設へのアクセス

基本方針の③「日常生活に即した運行サービスの提供」に基づき、効率性の観点から踏まえながら、市民や利用者のニーズが高い施設へのアクセスを考慮する。対象とする施設について、施設の役割や市民アンケート、CoCoバス利用者アンケート、施設利用者アンケート、地域懇談会等の結果から、以下の通り整理した。

1) 交通結節点

鉄道や路線バス利用者の乗継利便性を考慮し、市内の鉄道駅を交通結節点として整理した。

- 武蔵小金井駅（JR 中央線）
- 東小金井駅（JR 中央線）
- 新小金井駅（西武多摩川線）

2) 公共施設

市役所新庁舎移転後の市内の主要な公共施設として、以下の施設を対象とした。

- 市役所新庁舎・（仮称）新福祉会館
- 公民館本館及び各センター（東・緑・貫井南・貫井北）
- 図書館本館

3) 医療施設

市内の主要な医療施設として、以下の施設を対象とした。

- 桜町病院
- 武蔵野中央病院

4) その他施設

その他、アンケート・懇談会において要望の多い施設（小金井公園、イトーヨーカドー等）を市民・利用者ニーズの高い施設として整理した。

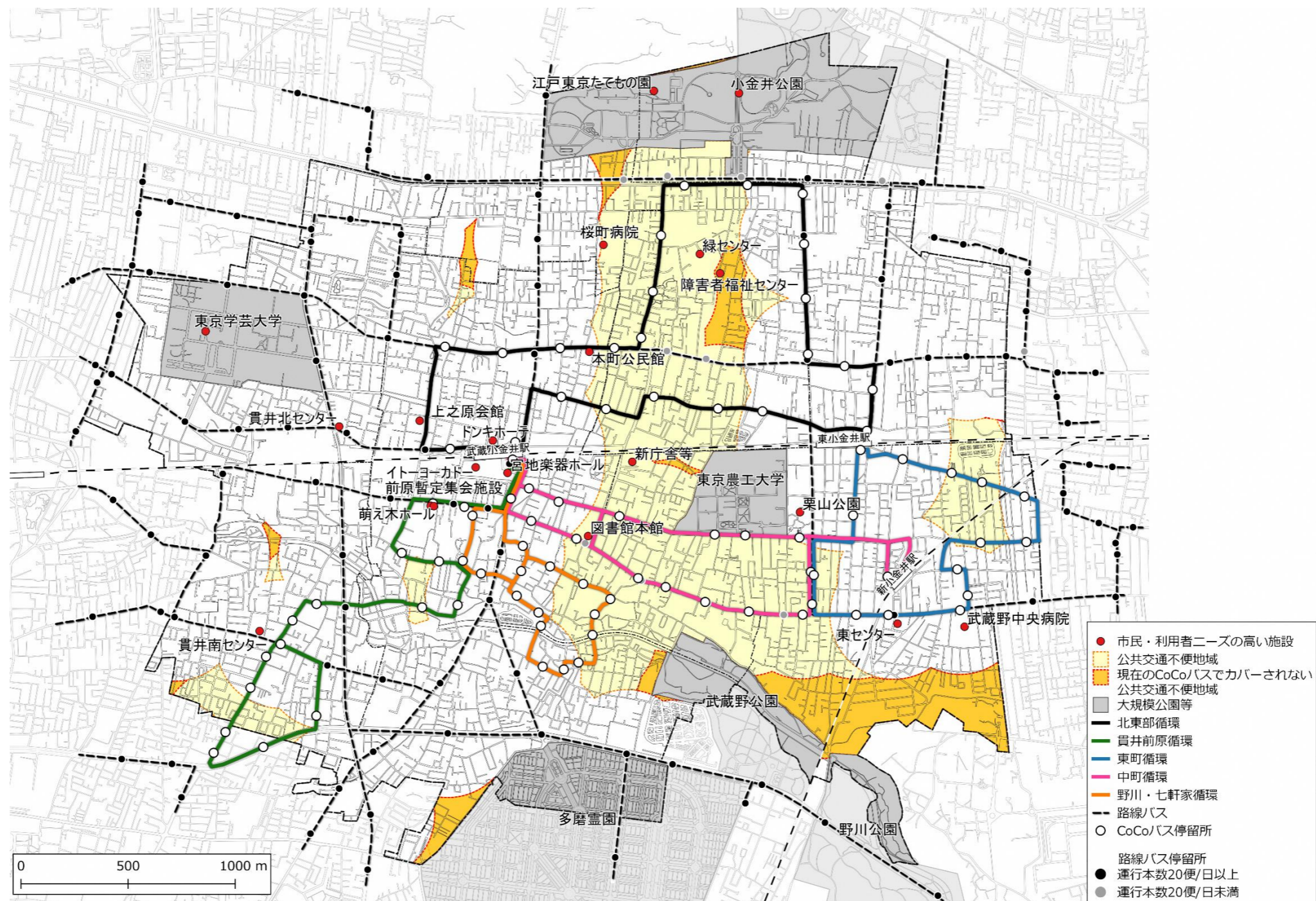


図 市民・利用者ニーズの高い施設

※図中の「新庁舎等」は市役所新庁舎・（仮称）新福祉会館を指す

参考 各アンケート・地域懇談会の実施結果

(1) 市民アンケート結果

- ・調査対象：18歳以上の小金井市民 2,000人（回収数 811、回収率 40.6%）
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収

表 運行して欲しい場所（3票以上の目的地 述べ回答数：295）

目的地名称	回答数	目的地名称	回答数
武蔵小金井駅	78	栗山公園	6
小金井公園	42	小金井市保健センター	6
東小金井駅	28	貫井北センター	6
駅	20	緑センター	4
イトーヨーカドー	18	ドンキホーテ	3
市役所	13	野川公園	3
その他病院	7	学芸大	3
		本町	3
		市内	3

(2) 利用者アンケート結果

- ・調査対象：CoCo バスの利用者 ※未就学児・学生は配布対象外（運賃に関する設問があるため）
- ・配布数 2,042人（回収数 870、回収率 42.6%）
- ・調査方法：直接配布・郵送回収

表 運行して欲しい場所（3票以上の目的地 述べ回答数：373）

名称	回答数	名称	回答数
武蔵小金井駅	66	オーケーストア	3
小金井公園	38	会社	3
イトーヨーカドー	28	桜町	3
市役所	27	障害者センター	3
病院	24	体育館	3
東小金井駅	22	東センター	3
宮地楽器ホール	15	武蔵境駅	3
図書館	14	保健センター	3
駅	9	本町	3
野川公園	6	郵便局	3
貫井北センター	5		
たてもの園	5		

(3) 第一回地域懇談会結果

第一回地域懇談会参加者の意見のうち、「行きたい施設」について言及されたものを記載した。

表 運行して欲しい場所（懇談会内で言及のあった目的地 参加者数：58名）

名称	回答数	名称	回答数
桜町病院	7	スタジオジブリ	1
日赤病院	6	貫井北センター	1
武蔵小金井駅	6	栗山公園	1
東小金井駅	5	元農協跡付近	1
小金井公園	4	上之原会館	1
新庁舎・（仮称）新福祉会館	4	新小金井駅	1
武蔵野公園	3	前原集会所	1
市役所	2	本町公民館	1
障害者福祉センター	2	浴恩館公園	1
野川公園	2	緑センター	1
		武蔵境駅	1

以上の結果より、小金井市内の市民・利用者ニーズの高い施設を整理した。

1.4 安全性の確保

コミュニティバスの運行に際しては運行時の安全確保を第一とし、車両制限令に基づく道路幅員の規定及び一方通行、スクールゾーン等の規定を遵守する。また、昨今の動向として、現在国土交通省が調査中の「危険なバス停」や、「未就学児等及び高齢者運転の交通安全緊急対策」に基づく「キッズ・ゾーン」等についても考慮する。

1) 危険なバス停

2019年8月に横浜市で発生した事故を受け、国土交通省では、横断歩道の近くにあり、交通事故の危険性のある、いわゆる「危険なバス停」について全国調査を実施しており、今年3月以降に順次公表される予定である。

神奈川県では全国に先駆け、「危険なバス停」として84箇所のバス停を公表し、各箇所について危険度の判定結果を3段階で示すとともに、停留所の廃止・移設や横断歩道の廃止などの安全対策を示している。

2) キッズ・ゾーン

内閣府及び厚生労働省では、保育所等における園外活動の安全確保を目的として、小学校等の通学路等に設けられているスクールゾーンに準じるものとして「キッズ・ゾーン」を創設した。

「キッズ・ゾーン」の範囲の設定については、保育所、保育所型認定こども園等を中心に原則500mの範囲を対象として市町村の福祉部局等が主体として実施する。設定にあたっては、道路管理者、都道府県警察と協議するものとされている。

危険度判定基準

危険度	判定基準
A	過去3年以内で、停車した路線バスが要因となる人身事故が発生している停留所
	指定項目(※)の合計点数が平均以上で、アまたはイに該当する停留所
	ア <ul style="list-style-type: none"> 横断歩道を利用する児童の人数が84か所の平均以上 路線バスが停車した際、横断歩道を全部塞ぐ
	イ <ul style="list-style-type: none"> 横断歩道を利用する児童の人数が84か所の平均以上 路線バスの一日の運行本数が84か所の平均以上
B	指定項目の合計点数が平均以上
C	指定項目の合計点数が平均以下

※指定項目
警察署で調査した停留所周辺の交通実態に係る項目のうち、危険度を判定する上で目安となる項目(交通量や通学路に該当するか等)として選定したもの。

図 神奈川県の危険度の判定基準

(出典:神奈川県警「バス停留所安全対策実施状況一覧表」)

2 CoCo バス現行路線の課題事項

現在の利用状況、アンケート調査、バス事業者の見解及び第一回地域懇談会の結果及び、これまで市に寄せられた要望事項などから、各路線の課題を整理した。

なお、以下では平成 30 年度に実施した乗降者数調査において平日・休日、乗車数・降車数がそれぞれ最も多くても 20 人以下のバス停を「利用が少ない」バス停としている。（現在の CoCo バスの運行本数は全路線 1 日 20 便以上であるため、1 便あたりの乗車数及び降車数が 1 人未満のバス停）

	北東部循環	貫井前原循環	東町循環	中町循環	野川・七軒家循環
課題事項 要望事項	<ul style="list-style-type: none"> 1 周の路線長が長く、地域によっては目的地までが遠回りとなるため、<u>2 ルート化や逆回り運行の要望がある。</u> <u>小金井公園への来訪者等、市外からの利用も多く、車内混雑により、地域住民が乗れないことがあるとの意見がある。</u> <u>「桜町病院入口」バス停から桜町病院までが遠いとの意見が多数ある。</u> 「緑町一丁目」～「東小金井駅」区間はバス停間隔が広く、バス停の設置要望がある。 「稲穂神社前」～「小金井市役所入口」区間は<u>道路幅員が狭く、走行時の振動・騒音等に対して沿線住民からの改善要望がある。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 「小金井市役所前」～「ハナダイコン緑地」の坂下地域は<u>幅員が狭く、すれ違いが困難である。</u> 現在は、誘導員を配置し、乗務員同士で無線により安全確保を行っている。 ダイヤ設定上、時間調整が難しく、<u>狭い道路における徐行運行やすれ違い時の待機等により、遅延が発生しやすい傾向がある。</u> 「前原小学校前」～「ハナダイコン緑地」区間はバス停間隔が広く、バス停の設置要望がある。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>東町から武蔵小金井駅への運行要望</u>（中町循環との統合）がある。 東町一・五丁目は、道路幅員が狭く、現状不便地域となっており、<u>ミニバス等の運行要望</u>がある。 西武多摩川線以東の「富士見通り東」～「東町一丁目」区間は<u>道路幅員が狭く、一部区間では走行時の振動・騒音等に対して沿線住民からの改善要望がある。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> CoCo バス(中町循環・東町循環)との競合により 2018 年 4 月に路線バス(京王バス境 81 系統)が減便となって以降、<u>路線全体の利用者数が増加し、車内が混雑</u>している。 ※2017 年度利用者:約 13.0 万人 2018 年度利用者:約 15.3 万人 利用者の増加や、沿線道路の工事等により<u>遅延が発生しやすく、バス車両 1 台での運行であるため、以降の便にも影響が及んでいる。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> <u>運行している地域は全体的に道路幅員が狭く、ポンチョに比べて小型のハイエースで運行している。</u> 車両定員が 11 人(乗務員含む)と少ないため、特に「武蔵小金井駅南口」及び「中前橋」付近のバス停において、<u>現状慢性的に乗り残しが発生している。</u>
利用の少ない バス停	<ul style="list-style-type: none"> けやき通り商店街 梶野町五丁目 	<ul style="list-style-type: none"> 小金井市役所前（双方向） 幡随院（双方向） 神明宮入口（双方向） 平代坂下（武蔵小金井駅方面） 	<ul style="list-style-type: none"> 歯科大グランド前 駅開設記念館前 東町三丁目 新小金井通り 野川公園入口 東大通り南 くりやま通り 	<ul style="list-style-type: none"> 美術館入口 中山谷 農工大通り商店街 南一番街 中町四丁目 第一小学校 中町三丁目 農工大前 	<ul style="list-style-type: none"> 金蔵院北 西念寺前（双方向） 幼稚園北 小金井神社南 第二中学校東 はげの森美術館 第二中学校北 車屋坂下 質屋坂下 なそい坂 小金井市第二庁舎
CoCo バスで カバーされない 公共交通不便地域	<ul style="list-style-type: none"> 緑町二丁目の西側は、道路幅員から通行は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 前原町四丁目地域は、運行の効率性(1 周に要する時間)から通行が難しい。 道路幅員等の道路事情のため、<u>現在バス(路線バスを含む)が通行している道路以外の通行は難しい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 東町一・五丁目地域は、道路幅員から通行は難しい。 東中学校から連雀通りまで北上する道路は踏切に近接しており、バス車両の通行について警察から安全面の課題を指摘されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 東町一・五丁目地域は、道路幅員から通行は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 前原町二丁目の西側、中町一丁目南西部は、道路幅員や道路形状、交通規制等、地域の道路事情により、<u>通行は難しい。</u> 道路幅員等の道路事情のため、<u>現在バスが通行している道路以外の通行は難しい。</u>
競合している 路線バス	<ul style="list-style-type: none"> 関東バス 鷹 33 系統 京王バス 武 02 系統 	<ul style="list-style-type: none"> 京王バス 武 51 系統 	<ul style="list-style-type: none"> 京王バス 境 82 系統 	<ul style="list-style-type: none"> なし 	<ul style="list-style-type: none"> なし

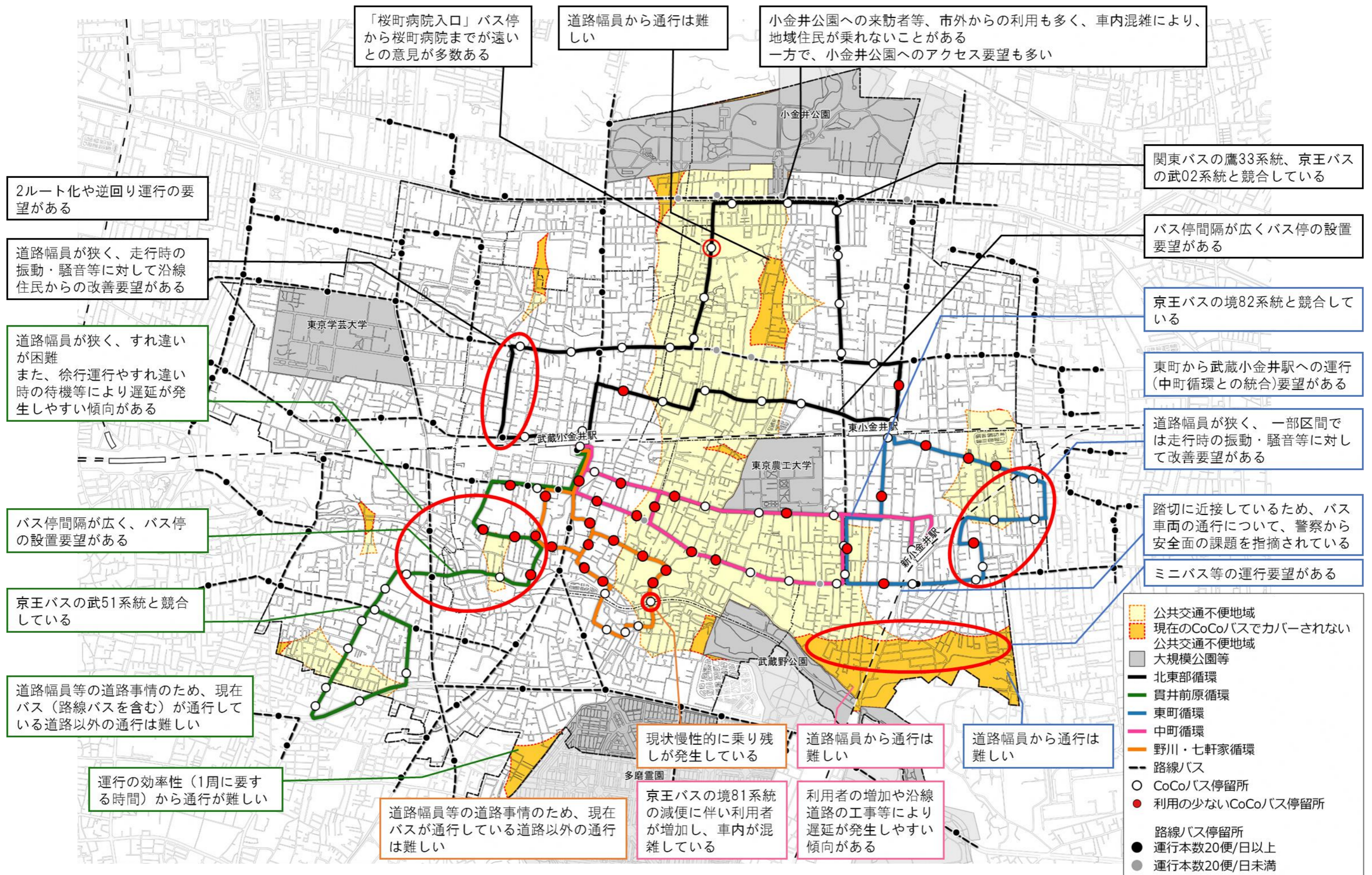


図 現行路線の課題事項

3 再編ルート検討

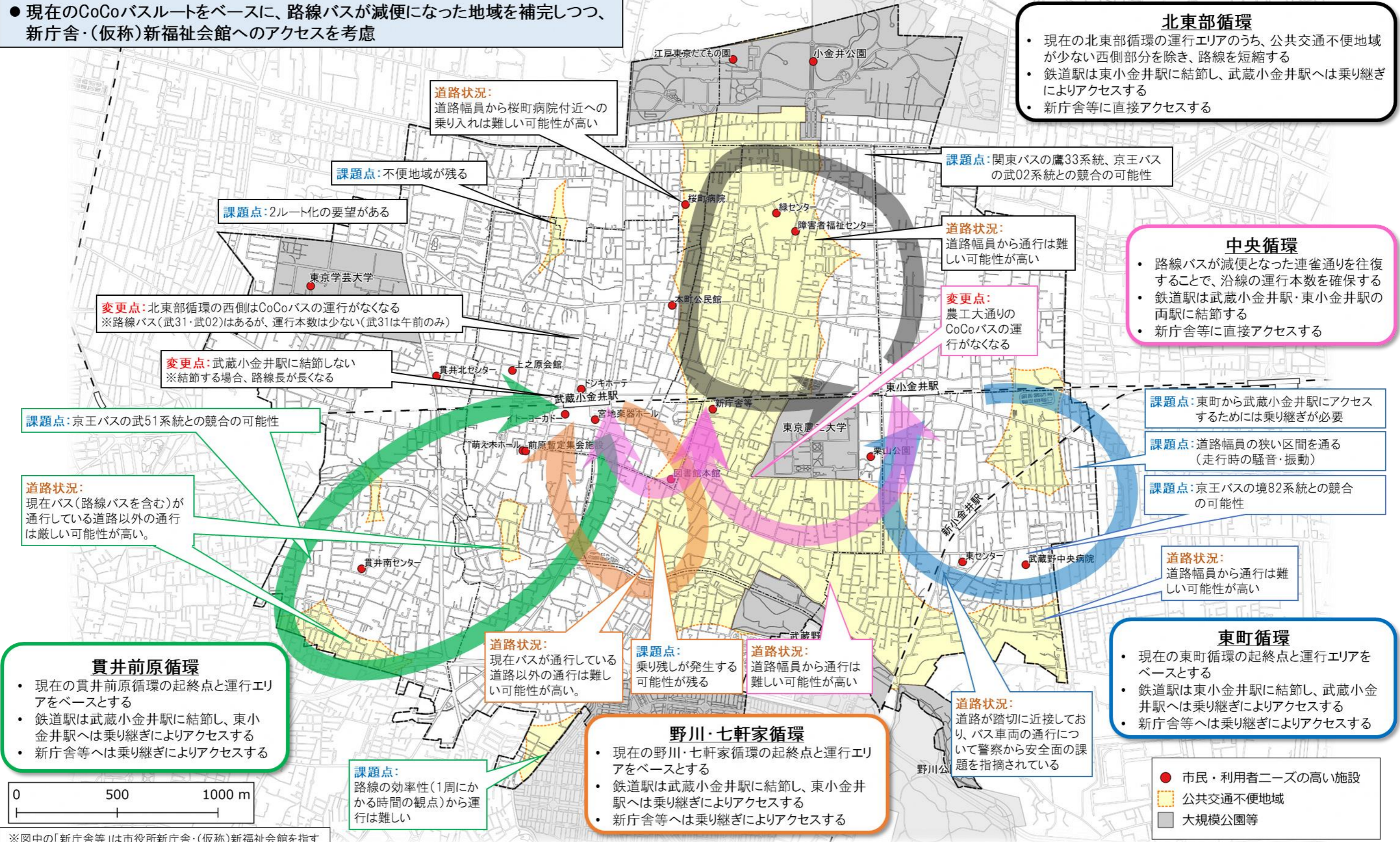
3.1 再編ルート案

以上の現況整理と課題を踏まえ、再編ルート案として以下の3案を検討した。なお、各案名称及び、個別の路線名は便宜上の仮称である。

	案① 現行ルートをベースとした改善案	案② 武蔵小金井駅・東小金井駅と新庁舎・(仮称)新福祉社会館 を循環するルート案	案③ 武蔵小金井駅と新庁舎・(仮称)新福祉社会館を循環するルート案
路線全体の考え方	○現在の CoCo バスルートをベースに、路線バスが減便になった地域を補完しつつ、新庁舎・(仮称)新福祉社会館へのアクセスを考慮	○市東西の交通拠点と新庁舎・(仮称)新福祉社会館を循環し、市内各地域からの新庁舎・(仮称)新福祉社会館へのアクセスを考慮	○バス路線等が集中する武蔵小金井駅と新庁舎・(仮称)新福祉社会館を効率的に結び、アクセス性を向上 ○多くの地域から新庁舎・(仮称)新福祉社会館へ直接アクセスする路線を確保
個別路線の考え方	<p>a) 中央循環 (想定する車両数 : 2 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線バスが減便となった連雀通りを往復することで、沿線の運行本数を確保する 鉄道駅は武蔵小金井駅・東小金井駅の両駅に結節する 新庁舎・(仮称)新福祉社会館に直接アクセスする <p>b) 北東部循環 (想定する車両数 : 1 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の北東部循環の運行エリアのうち、公共交通不便地域が少ない西側部分を除き、路線を短縮する 鉄道駅は東小金井駅に結節し、武蔵小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする 新庁舎・(仮称)新福祉社会館に直接アクセスする <p>c) 東町循環 (想定する車両数 : 1 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の東町循環の起終点と運行エリアをベースとする 鉄道駅は東小金井駅に結節し、武蔵小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする 新庁舎・(仮称)新福祉社会館へは乗り継ぎによりアクセスする <p>d) 貫井前原循環 (想定する車両数 : 2 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の貫井前原循環の起終点と運行エリアをベースとする 鉄道駅は武蔵小金井駅に結節し、東小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする 新庁舎・(仮称)新福祉社会館へは乗り継ぎによりアクセスする <p>e) 野川・七軒家循環 (想定する車両数 : ミニ 1 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の野川・七軒家循環の起終点と運行エリアをベースとする 鉄道駅は武蔵小金井駅に結節し、東小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする 新庁舎・(仮称)新福祉社会館へは乗り継ぎによりアクセスする 	<p>a) 中央循環 (想定する車両数 : 2 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新庁舎・(仮称)新福祉社会館を中心として、JR 中央本線の南北を8の字型に循環する 鉄道駅は武蔵小金井駅・東小金井駅の両駅に結節する 新庁舎・(仮称)新福祉社会館に直接アクセスする <p>b) 北東部循環 (想定する車両数 : 1 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の北東部循環の運行エリアのうち、公共交通不便地域が少ない西側部分を除き、路線を短縮する 鉄道駅は東小金井駅に結節し、武蔵小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする 新庁舎・(仮称)新福祉社会館に直接アクセスする <p>c) 東町循環 (想定する車両数 : 1 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の東町循環の起終点と運行エリアをベースとする 鉄道駅は東小金井駅に結節し、武蔵小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする 新庁舎・(仮称)新福祉社会館へは乗り継ぎによりアクセスする <p>d) 貫井前原循環 (想定する車両数 : 2 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の貫井前原循環の起終点と運行エリアをベースとする 鉄道駅は武蔵小金井駅に結節し、東小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする 新庁舎・(仮称)新福祉社会館へは乗り継ぎによりアクセスする <p>e) 野川・七軒家循環 (想定する車両数 : ミニ 1 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の野川・七軒家循環の起終点と運行エリアをベースとする 鉄道駅は武蔵小金井駅に結節し、東小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする 新庁舎・(仮称)新福祉社会館へは乗り継ぎによりアクセスする 	<p>a) 中央循環 (想定する車両数 : 1 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 武蔵小金井駅と新庁舎・(仮称)新福祉社会館の間を効率的に運行する 鉄道駅は武蔵小金井駅に結節し、東小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする 新庁舎・(仮称)新福祉社会館に直接アクセスする <p>b) 北東部循環 (想定する車両数 : 1 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の北東部循環の運行エリアのうち、公共交通不便地域が少ない西側部分を除き、路線を短縮する 鉄道駅は東小金井駅に結節し、武蔵小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする 新庁舎・(仮称)新福祉社会館に直接アクセスする <p>c) 中東循環 (想定する車両数 : 2 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の中町循環と東町循環を統合し、市内南東部を運行する路線とする 鉄道駅は東小金井駅に結節し、武蔵小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする 新庁舎・(仮称)新福祉社会館に直接アクセスする <p>d) 貫井前原循環 (想定する車両数 : 2 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の貫井前原循環の起終点と運行エリアをベースとする 鉄道駅は武蔵小金井駅に結節し、東小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする 新庁舎・(仮称)新福祉社会館へは乗り継ぎによりアクセスする <p>e) 野川・七軒家循環 (想定する車両数 : ミニ 1 台)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の野川・七軒家循環の起終点と運行エリアをベースとする 鉄道駅は武蔵小金井駅に結節し、東小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする 新庁舎・(仮称)新福祉社会館へは乗り継ぎによりアクセスする

案① 現行ルートをベースとした改善案

- 現在のCoCoバスルートを中心に、路線バスが減便になった地域を補完しつつ、新庁舎・(仮称)新福祉会館へのアクセスを考慮



北東部循環

- 現在の北東部循環の運行エリアのうち、公共交通不便地域が少ない西側部分を除き、路線を短縮する
- 鉄道駅は東小金井駅に結節し、武蔵小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする
- 新庁舎等に直接アクセスする

中央循環

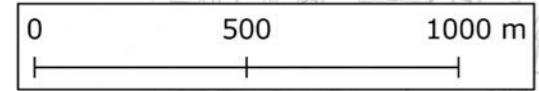
- 路線バスが減便となった連雀通りを往復することで、沿線の運行本数を確保する
- 鉄道駅は武蔵小金井駅・東小金井駅の両駅に結節する
- 新庁舎等に直接アクセスする

東町循環

- 現在の東町循環の起終点と運行エリアをベースとする
- 鉄道駅は東小金井駅に結節し、武蔵小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする
- 新庁舎等へは乗り継ぎによりアクセスする

貫井前原循環

- 現在の貫井前原循環の起終点と運行エリアをベースとする
- 鉄道駅は武蔵小金井駅に結節し、東小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする
- 新庁舎等へは乗り継ぎによりアクセスする

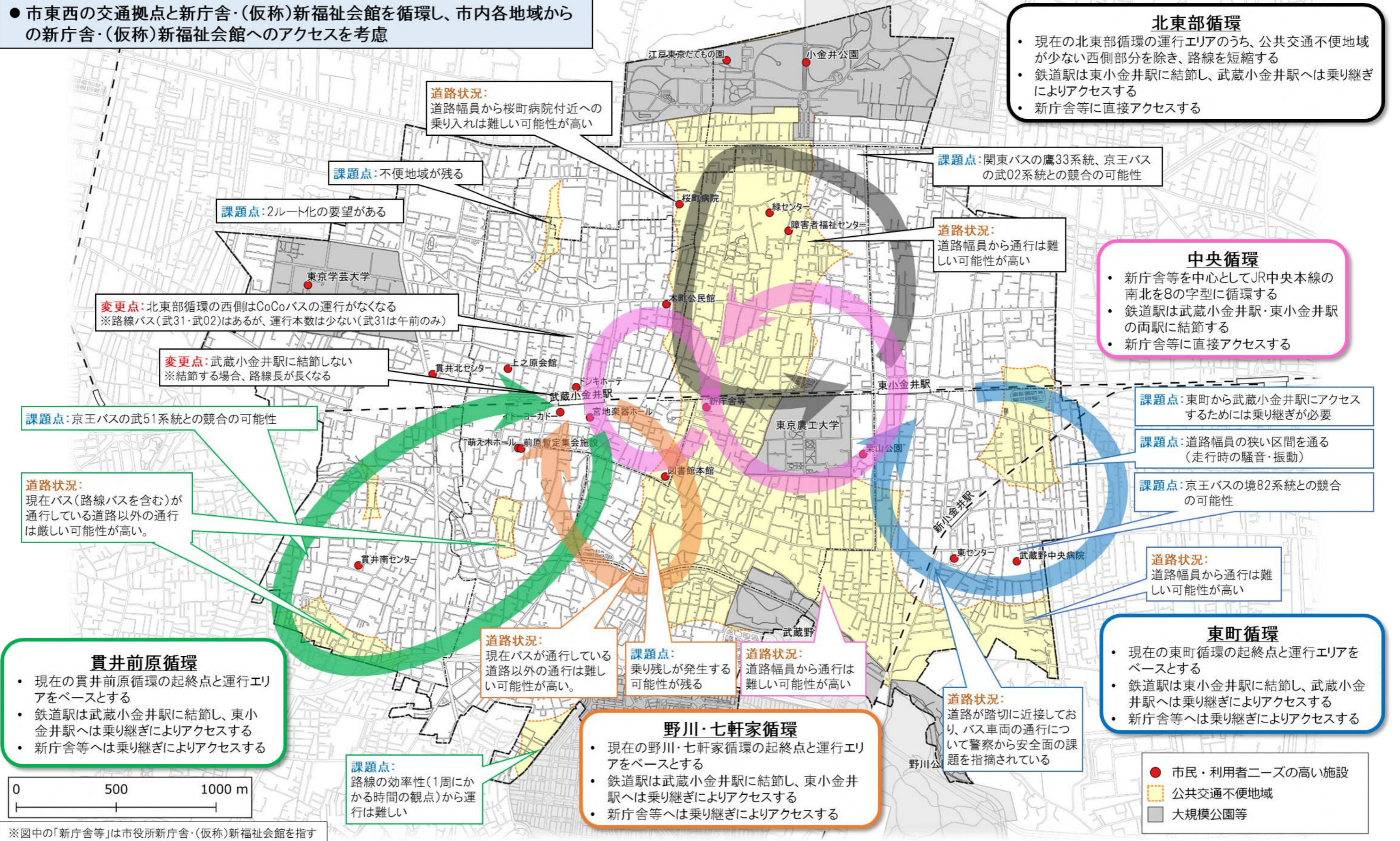


※図中の「新庁舎等」は市役所新庁舎・(仮称)新福祉会館を指す

図 案①の全体図と課題事項

案② 武蔵小金井駅・東小金井駅と、新庁舎・（仮称）新福祉社会館を循環するルート案

- 市東西の交通拠点と新庁舎・（仮称）新福祉社会館を循環し、市内各地域からの新庁舎・（仮称）新福祉社会館へのアクセスを考慮



北東部循環

- 現在の北東部循環の運行エリアのうち、公共交通不便地域が少ない西側部分を除き、路線を短縮する
- 鉄道駅は東小金井駅に結節し、武蔵小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする
- 新庁舎等に直接アクセスする

中央循環

- 新庁舎等を中心としてJR中央本線の南北を8の字型に循環する
- 鉄道駅は武蔵小金井駅・東小金井駅の両駅に結節する
- 新庁舎等に直接アクセスする

東町循環

- 現在の東町循環の起終点と運行エリアをベースとする
- 鉄道駅は東小金井駅に結節し、武蔵小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする
- 新庁舎等へは乗り継ぎによりアクセスする

野川・七軒家循環

- 現在の野川・七軒家循環の起終点と運行エリアをベースとする
- 鉄道駅は武蔵小金井駅に結節し、東小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする
- 新庁舎等へは乗り継ぎによりアクセスする

貫井前原循環

- 現在の貫井前原循環の起終点と運行エリアをベースとする
- 鉄道駅は武蔵小金井駅に結節し、東小金井駅へは乗り継ぎによりアクセスする
- 新庁舎等へは乗り継ぎによりアクセスする

※図中の「新庁舎等」は市役所新庁舎・（仮称）新福祉社会館を指す

図 案②の全体図と課題事項

案③ 武蔵小金井駅と新庁舎・（仮称）新福祉会館を循環するルート案

- バス路線等が集中する武蔵小金井駅と新庁舎・（仮称）新福祉会館を効率的に結び、アクセス性を向上
- 多くの地域から新庁舎・（仮称）新福祉会館へ直接アクセスする路線を確保

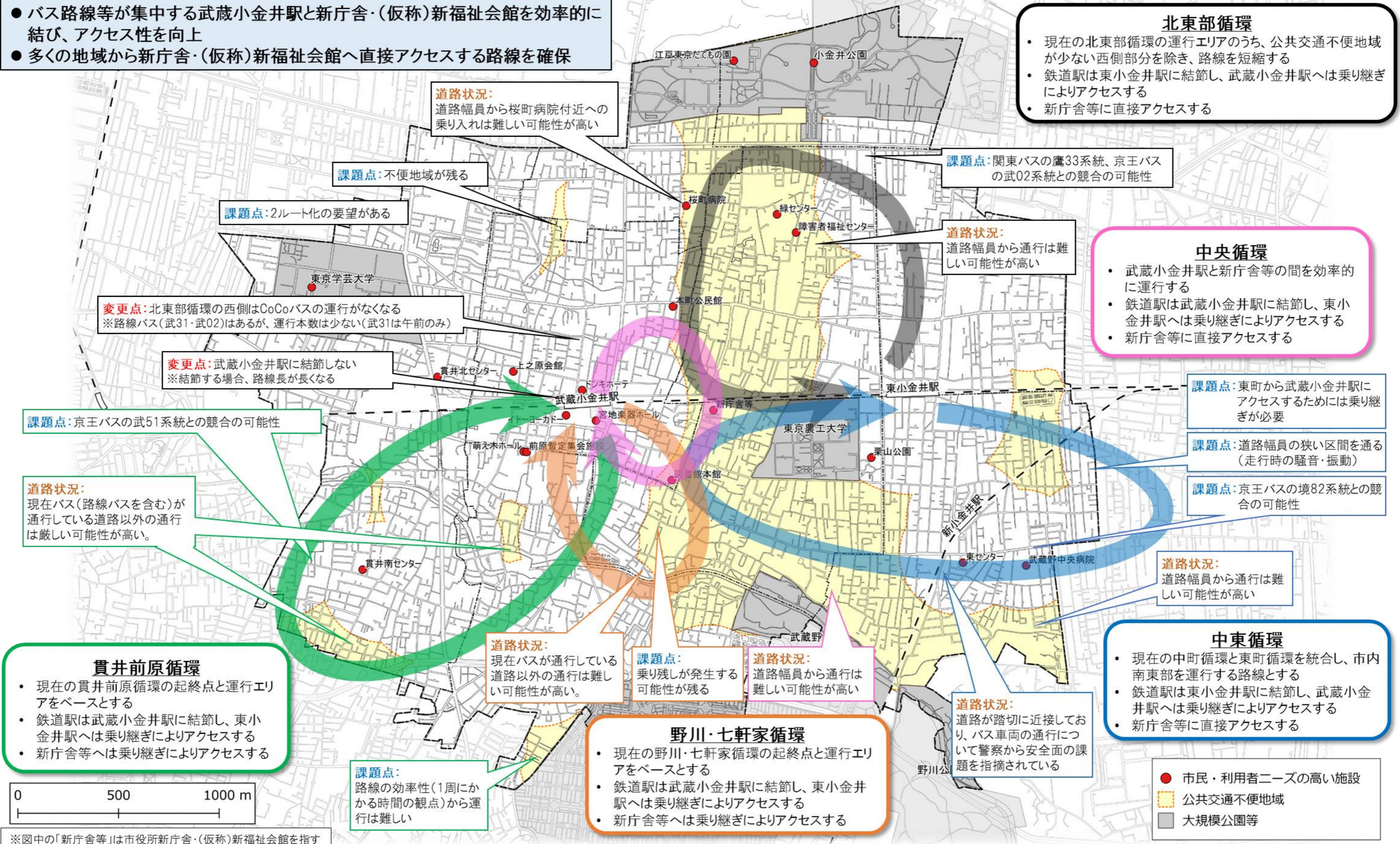


図 案③の全体図と課題事項